

○麻布大学 見学会の様子と生徒の感想



(上) 獣医学部 植竹教授、生命・環境科学部 伊藤教授
による学部概要説明の様子

(下) 「いのちの博物館」見学の様子



☆生徒から麻布大学の方へのお礼と感想

1年 T.Mさん

幼い頃から動物に関係のある職業に興味をもって、今回のような機会をいただけてとても嬉しく思います。印象に残ったことの一つは、キャンパス内に産業動物がいることです。身近に動物がいる環境で学べる大学はそれほど多くないと思います。また、研究室の数が36個と国内最多であることや、「出る杭プログラム」があることで1年次の後期から研究に力を入れられるところも魅力的だと思いました。臨床検査技術学科では国試の合格率が高く、臨床検査技師の資格とともに理科の教育免許取得を目指せます。フィールド活動に力を入れている環境学科では実習が全体の3割ととても充実しており、大学で勉強しながら将来の選択肢を広げることができるのが強みだと感じました。

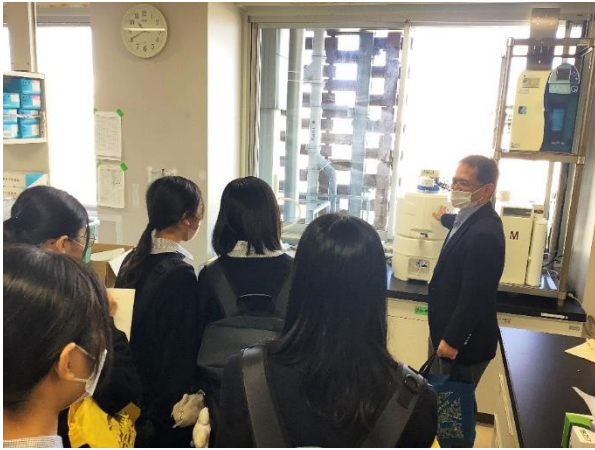
最後に見学会を通じて成長したことは、自分の将来をより深く考えるようになったことです。日々の学習をしっかり定着させることが大切だと考え、隙間時間を活用して英単語を暗記するなど、日々の学習の小さな積み重ねを始めてみようと思いました。見学の機会をくださり本当にありがとうございました。

1年 K.Yさん

このたびは学校見学会を実施していただき、ありがとうございました。

今回の見学会で、貴学や他の生物系学部のある大学ではどのような研究が行われているのかを知ることができました。印象に残ったことは施設の充実度です。研究室を見学させていただき、「洗練されている。研究に集中できそう」と感じました。また、学内で馬をはじめとする動物を飼育していることにも驚きました。博物館は展示物が非常に興味をそそるものであり、見入ってしまいました。

このような企画をご用意していただきありがとうございました。



研究室を見学させていただきました。

(左) 環境分析学研究室



(右) 伝染病学研究室

1年 O.Aさん

お忙しい中、学校の説明や研究室の紹介をして下さりありがとうございました。

私は将来、医療に携わりたいと考えていたので麻布大学を見学先に選びました。馬や牛がいて、木々も多く落ち着いた雰囲気でした。在籍している大学生は、課題をしていたり研究をしたりしてみんな生き生きしていました。研究室もたくさんあり、自分の研究に没頭できそうな環境でした。他にも教授の方に様々な機械を紹介をいただき、聞けば聞くほど面白くて時間を忘れるほどでした。中には私も知っている液体窒素もあれば、細菌を増やす機械もありました。一番印象に残っているものはピペットなどの器具を使用して遺伝子組み換えの研究をしていたことです。テレビの医療ドラマで見るとようなことをしていて感動しました。最後に行った「いのちの博物館」には様々な動物が展示されていました。身近な動物である犬や猫から、あまり見たことがないアナコンダやキリンまでいました。肋骨が人間の4倍近くある動物もいれば、手のひらサイズの骨を持つ動物もいて可愛かったです。

見学会を通して、これから動物の医療技術が進み、病気や怪我で苦しんでいる動物が減ったらいいと思いました。この経験を活かして私は将来何をしたいのかよく考えたいと思います。貴重な経験をありがとうございました。

1年 Y.Mさん

今回はお忙しい中、見学させていただきありがとうございました。

今回の見学で様々な貴重な経験をさせていただきました。私は将来動物に関わる職業につきたいと考えており、麻布大学では基礎から動物を学び、深く研究できると伺ったので、今回の大学見学に参加しました。大学説明で印象に残っていることは、研究室の多さです。獣医学部の研究室では細胞やウイルス、動物の解剖など、幅広い分野で学ぶことができることに驚きました。

大学見学の貴重な機会を無駄にしないように、これからの進路選択に役立てていきたいです。今回はありがとうございました。